

# 野球部会競技関連事項



柏市スポーツ少年団野球専門部会

平成27年4月

## 野球部会競技関連事項

競技・試合の運営は「公認野球規則」「全日本軟式野球連盟競技者必携」および本事項（野球部会競技関連事項）を適用する。

### 第1条 【チーム構成】

1. 1 ベンチ入りは成人者による代表者、監督（背番号 30）、コーチ 2 名（背番号 29・28）、スコアラー、救急介護補助員と小学生による選手 20 名以内とする。
1. 2 低学年大会においては 1. 1 の規定の他に背番号無しのコーチ 2 名が入ることが出来る。

### 第2条 【服装・用具】

2. 1 同一のチームの監督、コーチ、選手の服装は、同色・同形・同意匠のユニフォーム（帽子・ストッキング・アンダーシャツを含む）を着用すること。ただし新規の団加入者についてはユニフォームが出来上がるまでは認める。団代表者、スコアラー、救急介護補助員はスポーツにふさわしい服装であれば、ユニフォームを着用する必要はない。
2. 2 シートノックはユニフォーム着用者以外できない。
2. 3 選手の背番号は 0 番から 27 番までとする。
2. 4 スパイクシューズは監督、コーチ、選手は同色・同形とする。金具およびセラミック製の爪のついたスパイクシューズは使用を禁止する。
2. 5 ヘルメットは「JSBB」マーク入りで両側にイヤラップの付いたものを、最低 8 個用意し打者、次打者、走者、ベースコーチ、ボールボーイ（ガール）ノッカーにボールを手渡す選手が着帽する。大人がベースコーチに入る場合はこの限りではない。
2. 6 捕手（控え捕手も含む）は、シートノック時、試合中、ブルペンのいずれの場合も、プロテクター・レガース・マスク（スロートガード付き）・ヘルメット・ファウルカップを必ず着用する。
2. 7 大会使用球は「マルエス・C 号球」、または「ケンコーボール C 号球」とする。  
同一の大会期間中は同一メーカーのボールを使用する。
2. 8 金属バットは「JSBB」マーク入りのものであれば使用できる。
2. 9 荒天時、寒季または審判が認めた場合には走者になった投手、ベースコーチの上着の着用を認める。
2. 10 審判部が適正と認めた選手の保護用具の着用は許可する。

### 第3条 【試合の準備・集合時間等】

3. 1 競技場（野球場）は代表チーム戦と新人戦は学童用、低学年チームは短縮グラウンドで行う。
3. 2 試合前の球場の設営・準備は両チームの指導者、育成員、審判員で行う。
3. 3 両軍ベンチは、事前に事務局において一塁側・三塁側を決める。
3. 4 試合を行うチームは試合開始予定時刻の 45 分前までに集合し、審判員立ち会いのうえ先攻後攻を決めて、試合の出来る状態で待機すること。

3. 5 メンバー表の提出は3通（アナウンスが無い場合は2通）とし、ベンチ入りメンバーも記載する。フルネーム・ふりがなを楷書で読めるように書くこと。混成チームの場合、重なる背番号などは事前に球審に承認を得る。なお、メンバー表に記載された選手のみベンチ入り出来る。
3. 6 シートノックは後攻側より各5分とする。ただし審判員の判断で省略することが出来る。
3. 7 シートノックを含む試合中は30番、29番、28番をつけた指導者は選手の補助が出来る。
3. 8 選手が9人以上集合出来ない場合、または他の事情で試合が行えない場合は、状況を勘案したうえで球審が不戦敗の宣告をする。合理的理由で試合開始を遅らせる場合は30分を限度とする。
3. 9 会場が空いていて、両チームが試合の出来る状態の場合は、審判員の判断で予定時間前に試合を開始することが出来る。
3. 10 試合会場は審判部長が適否を判断し、使用する。

#### 第4条 【試合】

4. 1 試合時間は、代表チームは球審がプレーを宣告した時点より90分（7回戦）とする。また回数に関係なく90分を経過した場合は、新しいイニングに入らない。試合時間を計測する時計はこれを明らかにする。
4. 2 7回を終了するも同点で、90分経過していない場合は通常の延長戦を行う。ただし、リーグ戦の場合は7回終了または、90分経過して、同点の場合は引き分けとする。
4. 3 低学年の試合は前項を75分、5回戦と読み替え、他は前項と同様に行う。
4. 4 後攻チームが勝っていて、後攻チームの攻撃中に90分に達した場合は中途でも試合を終了させる。
4. 4 日没、降雨でのコールドゲームの試合成立は、代表チームは4回均等回、低学年チームは3回均等回とする。試合成立前の場合は再試合とする。
4. 5 試合途中で悪天候になった場合、最大30分まで待ち、可能な限り試合を完了する。この場合の待ち時間は試合時間から差し引く。
4. 6 得点差によるコールドゲームは代表チームの試合は4回10点、5回以降7点、低学年チームの試合は3回10点とする。リーグ戦の上位順位戦の決勝、トーナメント戦の決勝において適用しない。
4. 7 柏市主催大会では、ベースコーチに監督、コーチが立つことが出来る。（どちらか一方の塁に1名）ただし他の大会の場合はその規定に従う。
4. 8 1人の投手の投球制限を、1試合15アウト、1日最大2試合までとする。低学年の場合は、1試合9アウト、1日最大2試合までとする。通常延長戦の再登板は出来ない。
4. 9 選手の健康管理を考慮して試合途中での棄権を認める。この場合、代表チームは7-0、低学年チームは5-0のスコアとして考える。また、熱中症対策として、15分から20分を目安として守備につきっぱなしの場合には給水タイムを取る。この場合の時間は試合時間を含む。

## 第5条 【特別延長戦】

5. 1 トーナメント戦およびリーグ戦の上位順位決定戦において規定のイニング・時間を経過して同点の場合は特別延長戦に入る。
5. 2 前回の最終打者を一塁走者とし、二塁・三塁の走者は順次前の打者を置き、一死満塁継続打順、サドンデス方式で行う。1イニング行っても同点の場合はもう1イニング行う。それでも決着がつかない場合は最終出場選手9名ずつによる抽選とする。低学年の場合は1イニングのみ行い、同点の場合は抽選とする。
5. 3 特別延長戦に入ってから選手の交代は規則に準じて認めるが、15アウト（9アウト）投げた投手の再登板（試合から退いていない場合のみ）が可能である。

## 第6条 【審判員】

6. 1 審判員は「公認野球規則」「全日本軟式野球連盟競技者必携」を熟読し、野球規則9.01以下の通り公正にジャッジし試合を正しく完了させるよう努める。試合開始予定時刻の45分前に集合して試合に備える。
6. 2 服装はブルーのシャツ、グレーのスラックス、紺の審判用帽子とし、悪天候、寒季の上着着用を認める。
6. 3 服装は定められたものを正しく着用し、いつも清潔を心がける。
6. 4 4人制とし球審・一塁塁審は予め指定されたチームが担当し、二塁塁審は三塁側ベンチのチームが、三塁塁審は一塁側ベンチのチームがそれぞれ担当する。
6. 5 試合前、試合中に審判員が欠けた場合、本部または当該試合以外の各団審判部員を補充出来るが、審判部員がいない場合は残った審判員のみで試合終了まで行う。
6. 6 責任審判員は、試合終了後にスコアを確認のうえ、記録紙にサインし事務局および指定連絡先にFAX等で報告する。

## 第7条 【順位決定・表彰】

7. 1 リーグ戦の順位は①勝ち数の多いチーム、②引き分け数の多いチームの順に決め、勝ち、負け、引き分けが同じ場合は対戦上位で決める。それでも決まらない場合は失点の少ないチームを上位とする。それでも決まらない場合は代表9人による抽選とする。
7. 2 表彰は以下の通りに行う。

① 県大会柏予選	優勝	表彰状・カップ			
	準優勝以下	表彰状			
② 春季・秋季大会	優勝	表彰状・カップ			
	準優勝・3位	表彰状・トロフィー			
	最優秀賞	優勝団（個人賞）	優秀賞	各団（個人賞）	
③ 新人戦	優勝	表彰状・カップ・メダル			
	準優勝・3位	表彰状・トロフィー・メダル			
	最優秀賞	優勝団（個人賞）	優秀賞	各団（個人賞）	

その他協賛などがあった場合は役員会で表彰チームを決定する。

## 第8条 【試合に関する諸注意】

8. 1 規則適用の疑義がある場合は、監督と当該選手のみが確認を求めることができる。
8. 2 コーティシーランナーを認める。
8. 3 ベンチやグラウンド内での喫煙、飲食（熱中症対策を除く）を禁止する。また、ベンチ内で携帯電話の使用やカメラ等による撮影を禁止する。メガホンは監督に限り認める。
8. 4 監督はタイムを取るときはベンチ内で声をかけ、タイムが宣告されてからベンチを出る。
8. 5 各回の先頭打者、次打者、ベースコーチは円陣に加わらず、速やかに所定の位置につく。次打者のネクストサークル内での素振りを禁止する。
8. 6 作戦タイムは守備・攻撃それぞれ3回ずつとする。2名以上の野手が投手板に集まった場合は1回にカウントする。延長戦は攻守共に1イニングに1回とることが出来る。
8. 7 試合中スパイクの紐を結び直す為のタイムを原則認めない。
8. 8 試合中の球場内での投球練習等は1組とする。次の試合のチームの練習は、5回終了後または、1時間15分経過後に1組とする。この場合、指導者が立ち会うこと。
8. 9 内野手が前進守備をする場合、投手が球をリリースするまでは、投手板からファールラインへ引いた垂線とファールラインによって囲まれた地域への進入を禁止する。
8. 10 バックネット裏での観戦を原則禁止とする。宮田島の三塁側観客席は当分の間グラウンド内に設置し場外扱いとする。
8. 11 試合後エールの交換はせずに速やかにベンチを空ける。

## 第9条 【スケジュール等】

9. 1 大会スケジュール、および重要な連絡等は代表者会議、またはその他会議の際に行う。大会の説明を行う会議（抽選会等）には必ず代表者、または指導者1名以上が出席し、内容をチーム内へ周知徹底する。
9. 2 大会スケジュール変更、および重要な連絡等は原則電子メールにて行う。従って各団の事務局員または連絡担当員は必ず確認のうえチーム内に周知徹底する。
9. 3 悪天候の場合、事務局・担当役員・会場責任者・チーム代表者の協議のうえ決定する。試合決行・中止は選手の健康管理を第1に考えて決定する。
9. 4 降雨・荒天が明らかな場合は、会場担当団の判断を事務局長に連絡し、事務局長は部会長に報告する。部会長は可否を決め、事務局長が連絡網により各団に連絡する。
9. 5 学校行事、その他の公共の行事により、試合および試合時間の変更を求める場合は、原則として試合の2週間前まで、または行事予定確定の直後に事務局長に連絡すること。それ以後の変更は認めない。

(付則) この取り決め事項は平成22年4月1日から施行する。

改正が必要な場合は、総会・代表者会議・役員会において加筆、削除が出来る。

(改正) 平成26年4月20日

平成27年4月5日